

カリキュラム・マップ(学修成果の構成要素と各授業科目との関係)

※ 学修成果 ⇒ ① + ②の要素で表現		科目名	② 当該分野以外においても普遍的に有用性を持つ能力						
			(コミュニケーション能力)	(情報活用能力)	(総合的問題思考力)	(論理的思考力)	(能動的学修姿勢)	(倫理観、社会的責任の自覚)	(異なる文化・社会への理解)
			自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、相手の意見や疑問を的確に理解し、協調して行動することができる。	情報通信技術等を用いて、多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる。	論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えている。	高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。
① 分野固有の知識及び技術	(語学分野)	Academic English I, II	○		○	○	○		○
	論文読解、論文公表、学会発表など実践的な英語を習得する。	Practical English I, II, III, IV	○		○	○	○		○
	(教養分野)	基礎ゼミナール	○	○	○	○	○		○
	社会生活に必要な基礎的知識を習得する。	教養科目・基盤科目	○	○	○	○		○	○
		情報リテラシー実践 I	○	○	○		○	○	
	(専門基礎分野)	微分積分 I・II・III			○	○			
	数理科学全般で必要となる基礎的な知識を習得する。	線形代数 I・II・III			○	○			
		集合と論理			○	○			
		解析入門 I・II			○	○			
		離散数学入門			○	○			
		確率統計			○	○			
		応用数理概論 I			○	○			
		位相空間論			○	○			
		微分積分 I・II・III 演習			○	○	○		
		線形代数 I・II・III 演習			○	○	○		
		集合と論理演習			○	○	○		
		解析入門 I・II 演習			○	○	○		
		位相空間論演習			○	○	○		
	(専門分野)	代数学序論			○	○			
	より専門性の高い数理科学を習得する。	代数学序論演習			○	○	○		
		幾何学序論			○	○			
		幾何学序論演習			○	○	○		
		数理科学総論	○	○	○	○	○		
		代数学A・B・C			○	○			
		幾何学A・B・C			○	○			
		解析学A・B・C			○	○			
		数学英語			○	○			
		応用数理概論 II・III			○	○			
		計算の数理 I・II			○	○			
		アルゴリズムA・B			○	○			
		アルゴリズムA・B演習			○	○	○		
		情報システム			○	○			
		情報システム演習			○	○	○		
		代数学特別講義 I・II・III			○	○			
		幾何学特別講義 I・II・III			○	○			
		解析学特別講義 I・II・III			○	○			
		応用数理特別講義 I・II・III			○	○			
	(総合分野)								
	卒業研究を通じて数理科学の実践的な研究力、発表力を習得する。	数理科学特別研究 I・II	○	○	○	○	○	○	○